



# 西念寺だより 長月号



令和4年9月1日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-62-1027, 63-2912 FAX 0774-26-9683

## 秋のお彼岸が近づいて参りました

今年の夏は梅雨明けが異常に早かったこともあり、猛暑日の日数が過去の記録を更新し、災害級と言われた厳しい暑さの日が続きました。

一方で、まだまだ収束の兆しが見えないコロナウイルスの感染予防対策が必要な中、3年ぶりとなる行動制限を伴わない夏となり、未だに感染者数が増加の一途を辿っています。

まだまだ爽やかな秋が来たという実感は乏しいですが、そこかしこに秋の風情が漂う今日この頃、壇信徒の皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、先月末に京セラ創業者の稲盛和夫氏が90才を一期として老衰のためお亡くなりになったというニュースが様々なメディアで報道されました。

たった一代で京セラを世界的な企業に成長させただけでなく、第二電電の創業や経営破綻した日本航空の再建を任されるなど、「経営の神様」とも称されます。

その稲盛氏の著書「心」の中に次のような一説があります。

人生の目的とは、まず一つに心を高めること。いいかえれば魂を磨くことにほかなりません。ともすると私たちは、富を手に入れたり、地位や名誉を求めたりすることに執着し、日々自らの欲得を満たすために奔走してしまいがちです。しかし、そうしたことは人生のゴールでもなければ目標でもありません。

生涯の体験を通して、生まれたときよりも幾何かでも魂が美しくなったか、僅かなりとも人間性が高まったか。そのことの方が、はるかに大切なのです。

そしてもう一つ、人生の目的をあげるとすれば、人のため、世の中のために尽くすこと。すなわち「利他の心」で生きることです。

自らの欲得を抑え、やさしい思いやりの心をもって、他のために尽くす。それもまた私たちが命を与えられた大切な意味だといえるでしょう。

心を高めること、そして「利他の心」で生きること—この二つは一体かつ不可分で、他のために尽くすことによってこそ心は研磨され、また美しい心をもつからこそ、世のため人のために働くことができるのです。

そのことが魂を磨き、心を高めることにつながります。そしてそれによって人格が陶冶され、人生はさらにすばらしく、豊かなものになっていくのです。

と、このように記されています。（「心」P29~30引用 サンマーク出版社）

ところで、お彼岸は御先祖さまに感謝・供養をささげるだけではなく、いま生きている私たちが「六波羅蜜」を実践すべき期間でもあることをこれまでから繰り返しお話ししてきました。

布施、持戒、忍辱、精進、禪定、智慧、この六波羅蜜の教えは先に引用した稲盛氏のお考えそのものです。是非私たちも見習って、六波羅蜜の実践に励みたいものです。



間もなくお彼岸を迎えます。御先祖様の御供養をするとともに、今生かされている事に感謝し、充実した毎日をお送りいただければと思います。

**裏面に続く**





## 【お彼岸の日程について】

下記の日程で、秋の彼岸会を厳修いたします。  
別紙プリントをご覧ください、お参りくださいますよう御案内申し上げます。

20日(火) 彼岸の入り

- ・御回向賜りました方々の施主別回向

23日(金) 中日法要

- ・午後1時～ お彼岸回向
- ・午後1時45分～ 法話 副住職
- ・午後2時～ 防犯教室、交通安全教室



3月春彼岸の様子

未だに後を絶たない特殊詐欺の被害、空き巣などの不審者侵入など、普段からこれらの被害に遭わないために身に付けておきたい事など、丁寧に教えていただきます。  
交通安全や免許制度等についても指導いただきます。

講師 田辺警察署警部補 池田哲也氏

- ・午後5時～ 田辺・一休ヶ丘戦没者慰霊法要

26日(月) 彼岸結願

- ・御回向賜りました方々の施主別回向



## 【地藏盆について】

今年も夏休みの最後を飾る行事、「地藏盆」が各所で行われました。コロナウイルス感染予防の観点から、例年に比べ半減しましたが、20日～21日を中心に地藏盆にお参りさせていただき、誠にありがとうございました。「仏説延命地藏菩薩経」の拝読の後、お地藏さんのお話をさせていただき、楽しい一時を過ごさせていただきました。

なお、お寺のお地藏様にも御供をいただきました。厚く御礼申し上げます。

北川晴雄様	菱田孝子様	なかよし地藏様
深田地蔵様	一休が丘自治会様	新田辺西住宅自治会様
子安地藏様	沓脱地藏講様	新田辺お地藏さんを守る会様
匿名希望様		(順不同)

## 【院号料御寄進のお知らせ】

園田球磨彦氏より園田歌子氏の御逝去に際し、院号(掛断物)料の御寄進をいただきました。誠に有り難うございました。歌子氏は崇佛の志深く、茶道書道の師範として御活躍されました。御冥福をお祈りします。

院号(掛断物)料 金35万円 為 慈徳院瑞譽智光歌信大姉(故園田歌子氏)  
施主 園田球磨彦氏

## 【お十夜法要のお知らせ】

阿弥陀如来に感謝の念仏を唱える法会である「お十夜法要」を下記のように勤めます。法要の後、今回はピアノとエレクトーンの指導者で作曲や演奏家としても御活躍されている城田亜澄氏にお越しいただき、素晴らしい演奏をご披露いただきます。是非皆様お揃いでお参りくださいますよう御案内申し上げます。

- ・日時 令和4年10月29日(土) 午後1時より  
午後1時～ お十夜法要  
午後1時45分～ 演奏会
- ・その他 参加者には御朱印を授与いたします。  
本行事は浄土宗京都教区寺院大公開の公開事業を兼ねています。

